

ギター、尺八、マリンバ。

桜舞ふ

新たなサウンドに出逢う春

ギター
荘村清志×SINSKE

マリンバ

ギター
福田進一×藤原道山

尺八

これまで互いにデュオとして共演を重ねてきた4人による、世界で唯一のカルテット。
百花繚乱の桜とともに、名手たちによる新たなサウンドを届けます。



KIYOSHI SHOMURA



SINSKE



SHIN-ICHI FUKUDA



DOZAN FUJIWARA

演奏予定曲

荘村清志×SINSKE タンゴの歴史より「Nightclub 1960」「Concert d'aujourd'hui」/A.ピアソラ
序奏とロンド・カプリチオーソ/C. サン=サーンス、浜辺の歌/成田為三
見上げてごらん夜の星を/いずみたく

福田進一×藤原道山 タンゴの歴史より「Bordel 1900」「Café 1930」/A.ピアソラ
萌春/長沢勝俊、ルーマニア民俗舞曲/B.バルトーク

カルテット 協奏曲「四季」より 第1番「春」/A.ヴィヴァルディ
亡き王女のパヴァーヌ/M.ラヴェル
ボレロ/M.ラヴェル 他 ※事情により曲目等が変更になる場合がございます。

2024 4/7 (日) 14:00開演 (13:30開場)

一般¥6,000/U25¥3,000 (枚数限定) 全席指定・税込

浜離宮朝日ホール

〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2 朝日新聞社東京本社・新館2階
TEL 03-5541-8710
※都営地下鉄大江戸線「築地市場」駅A2出口すぐ、エレベーターはA3出口

一般発売: 2024年1月16日(火) 10:00~

●朝日ホール・チケットセンター 03-3267-9990 *日・祝除く 10時~18時

朝日ホール・チケットセンター 🔍 検索

●イープラス <http://eplus.jp/>

イープラス先着先行受付: 1/9(火)~1/15(月)18時まで



●チケットぴあ <https://t.pia.jp/> 【Pコード: 259-836】

チケットぴあ先着先行受付: 1/9(火)~1/15(月)18時まで

※U25券をお求めの方は、年齢の確認できる身分証を必ずお持ちください。

【公演に関する問合せ】

ディーオー 03-6206-0852 (平日 13:00-17:00)

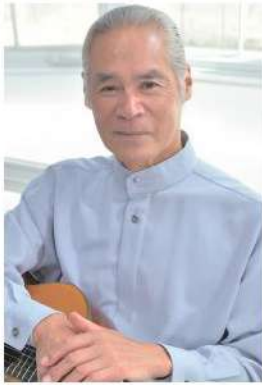
〈主催〉朝日新聞社/浜離宮朝日ホール
株式会社DO/株式会社MUNIQUE

〈企画・制作〉株式会社DO

〈協力〉株式会社ヒラサ・オフィス/株式会社AMATI

就学前のお子様のご入場はご遠慮いただいております。

託児サービスをご利用下さい。イベント託児マザーズ 0120-788-222(要予約)



荘村清志(ギター) Kiyoshi Shomura, Guitar

9歳よりギターを始める。1963年に巨匠イエセスに認められ、翌年スペインで師事。69年の日本デビューで、「テクニック、音楽性ともに第一人者」との高い評価を得た。71年には北米で28に及ぶ公演を行い、国際的評価を不動のものにした。74年にはNHK教育テレビ「ギターを弾こう」に、2007年にもNHK教育テレビ「趣味悠々」にそれぞれギター講師として登場し、日本ギター界の第一人者としての存在を強く印象づけた。08年ビルバオ交響楽団の定期演奏会に出演。同団とは《アランフェス協奏曲》を録音、09年にCDをリリースした。15年にはイ・ムジチ合奏団と共演、録音も行った。

2017年からギターの様々な可能性を追求する「荘村清志スペシャル・プロジェクト」(全4回)に取り組み、さだまさし、coba、古澤巖、錦織健らと共演し、ジャンルの垣根を越えたコラボレーションが話題となる。最終回では、cobaに委嘱したギター協奏曲も演奏し、注目を集めた。

2019年にはデビュー50周年を迎えた。20年、朝日新聞の連載「人生の贈りもの」をまとめた書籍「弾いて飲んで酔いしれて ギターとともに50年」(吉田純子編著)を出版。22年10月にcoba編曲による世界のポップス名曲選「ゴッドファーザー〜愛のテーマ〜」をリリース。

現在、東京音楽大学特任教授。

<https://www.kiyoshishomura.com>



福田進一(ギター) Shin-ichi Fukuda, Guitar

大阪生まれ。81年パリ国際ギターコンクールでグランプリ優勝。以後約40年に亘り、ソロ・リサイタル、主要オーケストラとの協演、超一流ソリストとの共演を続け、ボーダーレスな音楽への姿勢は世界中のファンを魅了している。大阪音楽大学、広島エリザベト音楽大学、上海音楽院(中国)、アリカント大学(スペイン)各音大のギター科客員教授。東京、アレクサンドリア、ハインスベルグ、コブレンツ、全米ギター協会など、主要国際ギターコンクールの審査員を歴任。

19年11月公開の映画「マチネの終わりに」(監督:西谷弘、主演:福山雅治、原作:平野啓一郎)では、クラシックギター監修を担当した。

ディスコグラフィーは既に100タイトルを超える。最新アルバムは23年4月発売の「ボンセ:スペインのフォリアによる20の変奏とフーガ〜情熱と印象〜」(マスターミュージック)。また、9月には福田進一と小林道夫によって93年に録音された「ボンセ:ギターとチェンバロのためのソナタ」が、リマスタリングされ、30年振りに復刻された。ネットでは「福田進一ザ・ギターレッスン」を開講。OTTAVA-TV、ぶらあぼcafeで配信、好評を得ている。

平成19年度「外務大臣表彰」受賞。平成23年度芸術選奨「文部科学大臣賞」受賞。

<https://shin-ichi-fukuda.themedia.jp>



藤原道山(尺八演奏家) Dozan Fujiwara, Shakuhachi

初代 山本邦山に師事。東京藝術大学卒業、同大学院音楽研究科修了。安宅賞、江戸川区文化功績賞、松尾芸能賞新人賞、平成30年度文化庁芸術祭優秀賞(アルバム)「季(TOKI-冬)」、台湾・金曲獎(Golden Melody Awards)「最優秀編曲賞」(KOBUDO-古武道-)、令和2年度(第71回)芸術選奨 文部科学大臣賞、第5回 服部真二賞を受賞。これまでにCD、映像作品等多数リリース。伝統音楽の演奏活動及び研究を行うと共に、「KOBUDO-古武道-」や尺八アンサンブル「風雅竹韻」等ユニット活動、様々なジャンルのミュージシャンとの共演を積極的に行う。映画『武士の一分』にゲスト・ミュージシャンとして参加したほか、ONE PIECE × 人形浄瑠璃 清和文楽『超馴鹿船出冬巻』総合演出・音楽監修、『敦』、『マクベス』(野村萬斎演出)、『ろくでなし啄木』(三谷幸喜演出)などの舞台音楽、吉永小百合氏の朗読アルバム「第二章 福島への思い」の音楽監修も手がける。小学校及び中学校音楽教科書(教育芸術社)の執筆・編集・出演や、後進育成など普及・教育活動にも力を注ぐ。現在、都山流尺八楽会所属・大師範。都山流道山会主宰、日本三曲協会会員。東京藝術大学音楽学部准教授。

<https://www.dozan.jp>



SINSKE(マリンバ) SINSKE, Marimba

桐朋学園大学音楽学部打楽器科、ベルギーのブリュッセル、アントワープ両王立音楽院各打楽器科を首席で卒業。マリンバ奏者として欧州にて6年間活動を続け、ベルギー放送交響楽団等のオーケストラとソリストとして共演する他、「第3回世界マリンバコンクール」準優勝を始め、多数の国際コンクールにて入賞する。その後2003年にCDデビュー後に帰国、ポップスからクラシックまで幅広い音楽性で国内外のコンサートホールでの演奏活動を展開。日本舞踊協会新作公演「創国紀」の音楽・演奏を担当するなど、舞台音楽も多数手がけている。これまでにテレビ朝日「題名のない音楽会」「関ジャム 完全燃SHOW」、NHK Eテレ「ムジカ・ピッコリーノ」、NTV「心ゆさぶれ!先輩ROCK YOU」等のテレビ番組、新聞、ラジオなど各メディアにて度々取り上げられている。2016年11月SONY mobile「Xperia」WEB CMに出演。2018年CDデビュー15周年を迎え記念公演を福岡シンフォニーホールなどで開催。2019年5月JR東海 TVCM「そうだ 京都、行こう。」若と新緑編の演奏を担当。2020年には打楽器アンサンブル「音舞人 -On My Beat-」を立ち上げ2年連続でヤマハホール公演や、海外公演を行うなど精力的に活動を展開中。

<https://www.sinske.jp/>